

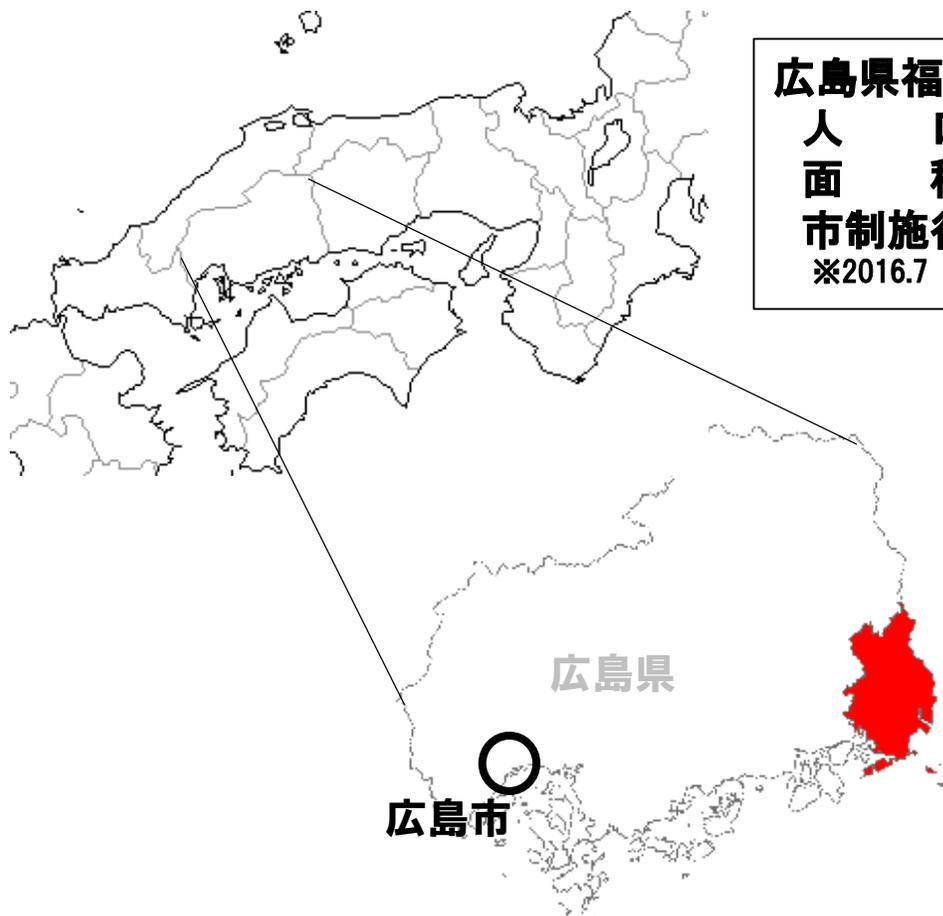
しおまち（潮待ち）モビリティ 実証調査

グリーンスローモビリティ
～カート型バス・タクシーの事業化に向けて～

福山市建設局都市部
都市交通課

1 福山市の紹介

- 100万本のばらのまち 福山市は、広島県の最東部、瀬戸内海のほぼ中央に位置し、**全国初の備後圏域連携中枢都市圏**の中核都市(人口約47万人)、鉄鋼・デニム産業など**オンリーワン・ナンバーワン企業**が多い。
- 日本一新幹線駅から近い“福山城”や鞆の浦など歴史・文化資源が豊富で、新幹線のぞみが停車する、**備後圏域の経済・文化の中心**。



広島県福山市(中核市)
人口:46.9万人
面積:518.14km²
市制施行:1916年
※2016.7 市制施行100周年

○オンリーワン・ナンバーワン企業



○歴史・文化資源



2 実証調査地 鞆の浦の概要①

○福山市の代表的な観光地「鞆の浦」は、**日本初の国立公園「瀬戸内海国立公園」**の一部に指定され、江戸時代から「潮待ち」の港として栄え、歴史的な建造物がまとまって残る全国的にも珍しい景勝地。



<鞆の浦の概要>
人 口:0.4万人(46.9万人)
面 積:4.86km²(518.14km²)
高齢化率:47.2%(27.8%)
観光客数:213万人(725万人)
(2018年3月現在;出典:市統計情報)
※()内は福山市のデータを示す

○アクセス

・福山駅から約14km(鞆鉄道株が運行するバス路線で約30分)



○瀬戸内海の潮の流れ



2 実証調査地 鞆の浦の概要②

- 国内随一の近世港町をテーマとしたストーリーが日本遺産に認定(平成30年5月)され、ユネスコ「世界の記憶」(平成29年10月登録)、国の重要伝統的建造物群保存地区(平成29年11月選定)とあわせた三冠は全国唯一。
- その歴史・文化・自然は国内外から高い評価を受け、観光客は年間213万人(平成29年度実績)と増加傾向。
- 広島県による埋立架橋計画事業(湾内バイパス道路)が計画されていたが、山側トンネルを含む総合対策へと方針変更。
町中の交通量抑制など交通処理対策は、地域住民の悲願。

○国内で唯一現存する近世港町の港湾施設



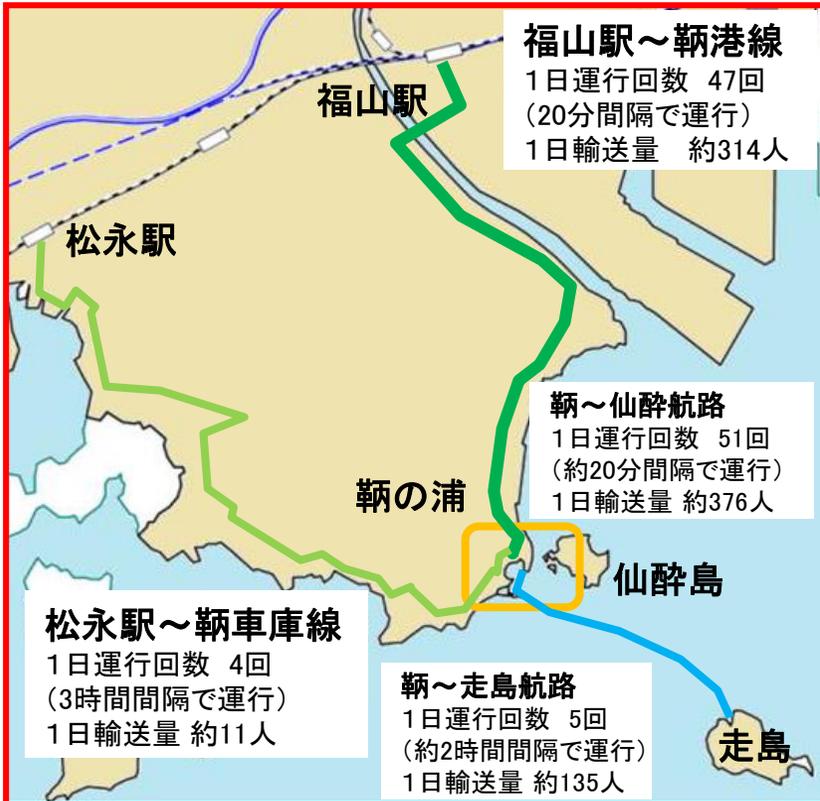
○撮影された映画やドラマなど



3 実証調査地 鞆の浦の公共交通の充足状況

- 同地域には、鞆鉄道(株)が運行するバスが2路線(福山駅～鞆港, 松永駅～鞆車庫)とタクシー会社の営業所が2社あり、日常的な移動や観光交通を担っている。しかし、**地域内でバスやタクシーが通行できる道路は限定されており、バスの便数も少ない**(松永駅～鞆車庫線)
- 鞆の浦から仙酔島(観光地)までは、市営の渡船(平成いろは丸)が20分毎に、走島までは連絡フェリー(鞆港～走島)が1日に5往復運航。島内には公共交通なし。

○鞆の浦の公共交通



<走島の概要>

人口:507人
高齢化率:67.9%
(2018年3月現在;出典:市統計情報)

○走島の概要

- ・広島県離島振興計画における離島地域。
- ・ガソリンスタンドはなく, 個人商店数か所, 出張診療所1か所, 公民館や高齢者サロンなどを集約した複合施設1か所。
- ・島民の高齢者は, 市の福祉事業である「お出かけ支援事業」を活用

○走島内の状況



◀島内の移動手段として
主流はシニアカー



▶走島と鞆の浦をつなぐ
フェリー

4 実証調査地 鞆の浦が抱える交通課題

- 鞆の浦の人口はここ30年で半分の4,000人に減少。高齢化率が47.2%と高く、町中には古くからの狭路やクランク、急な坂道が多く、路線バスの運行が難しく便数も少ないため、**高齢者のおでかけや通院など暮らしを支える移動手段の確保**が課題。
- 近年の観光客の増加に伴い、町中に通過交通や観光交通が流入し、地域住民の生活や緊急車両の通行に支障をきたしているため、**流入交通の抑制と合わせ、高台にある絶景ポイントへの観光客の案内**が課題。

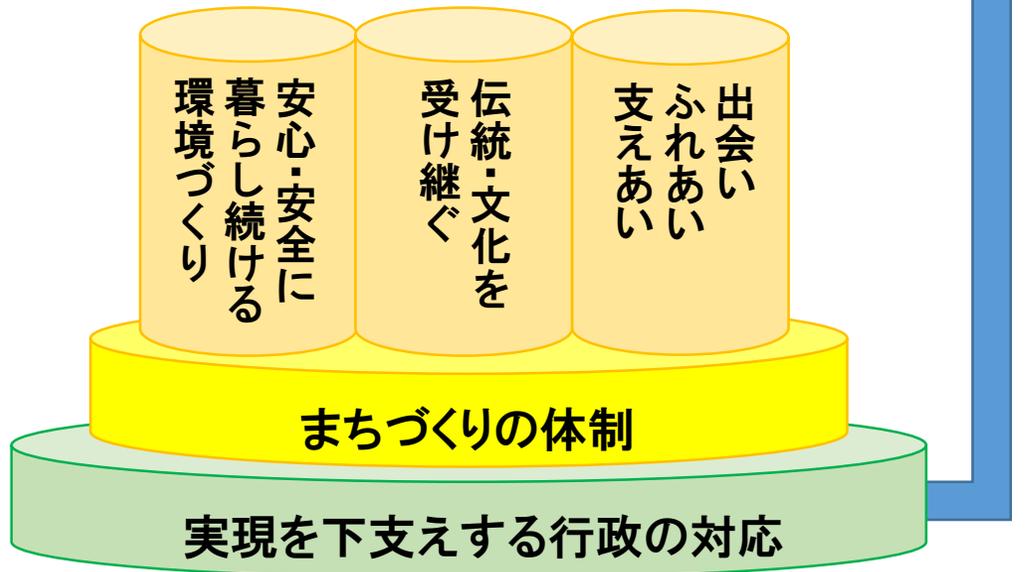


5 課題解決の方向性

- 平成30年3月策定の「**まちづくりビジョン**」において、**まち地区**において**地域と行政が協働**で取り組む**施策の方向性**を位置付けている。
- 地域課題の解決**にあたり、**グリーンスローモビリティ**の「**小型 Small**」「**低速 Slow**」「**安全 Safety**」「**開放感 Open**」「**環境性 Green**」といった**特徴に優位性**があり、**課題解決の有効性が期待**できる。

- まちづくりビジョン**における**行政の役割**
 - ・安全に安心して通れる生活道を含む**交通システムの構築**
 - ・**町中に流入する交通量の抑制**
 - ・**観光客の散策環境の整備**
 - ・**高齢者等の外出・買い物支援**

まちづくりビジョンの全体像



○グリーンスローモビリティの優位性



6 実証調査の概要①

- 「地域住民の移動支援」、「観光客の散策支援」、「離島での高齢者の外出買物支援」の3種類の運行ルートを設定し、事業スキームの構築及び本格導入に向けた実証調査を実施した。
- 今回の実証調査に伴いアンケートを作成した。地域住民に全戸配布，観光客などの利用者に試乗後に配布・記入をお願いし、**グリーンスローモビリティに対するニーズの把握及び幅広い意見の聴取**を行った。

○コンセプト

国内随一の近世港町である「鞆の浦」の歴史・文化・自然と、ここに住む人々の暮らしが織りなす独特の風情や景観は多くの人々に愛され続けている。こうした“ここに住む人々の暮らし”と“訪れる人たちへのおもてなし”をゆっくりとつむぐ。

○概要

実証調査期間：2018年11月16日(金)～29日(木)
使用車両：7人乗りゴルフカート2台(YAMAHA(AR-07))
運行主体：交通事業者(鞆鉄道株, アサヒタクシー株)

A:暮らしおたすけルート

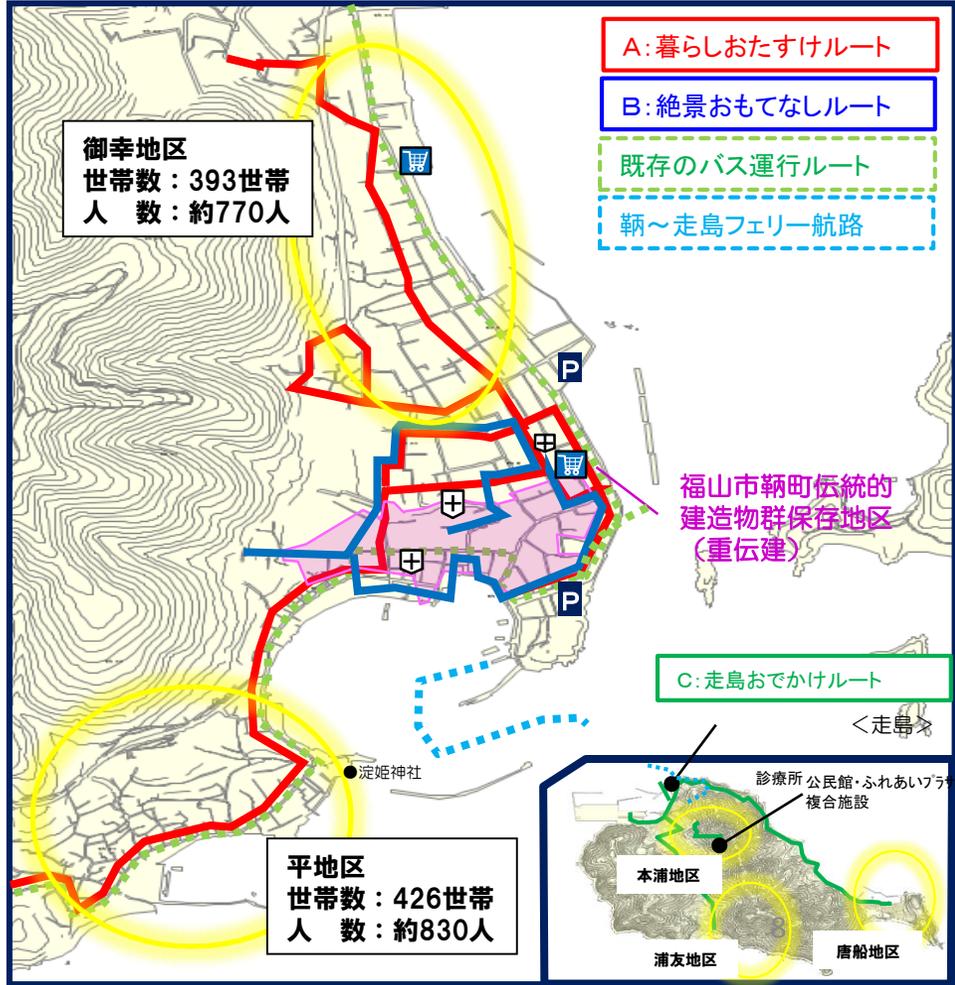
- ・「地域住民の移動支援」として、定時定路線で地域内を乗合運行。
- ・病院や高齢者サロンを経由し、フェリー乗り場やバス停へ接続。

B:絶景おもてなしルート

- ・「観光客の散策支援」として、不定期で利用客に応じた乗合運行。
- ・観光ガイドを添乗し、主な観光施設を周遊。

C:走島おでかけルート

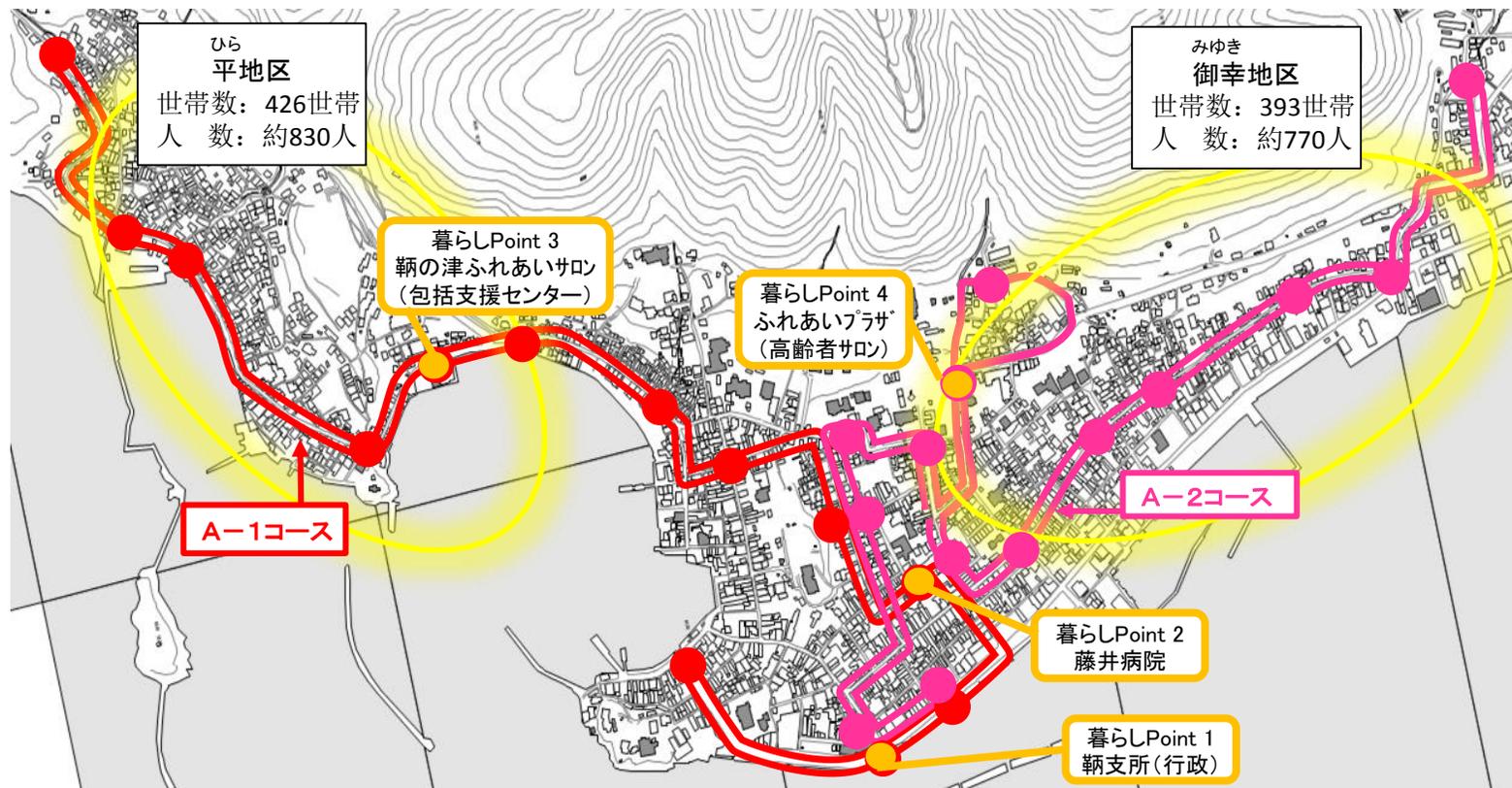
- ・「高齢者の外出買物支援」として、おでかけ支援事業(市福祉事業)の車両をグリーンスローモビリティの代替。



6 実証調査の概要②

< A : 暮らしおたすけルート >

走行距離	A-1:約5.9km, A-2:約5.1km
運行形態	定時定路線
運行事業者	バス事業者(鞆鉄道株式会社)
運行時間	8:30~17:00(本数 5便)
停留所の設置数	A-1:13か所, A-2:14か所
利用者確保方法	<ul style="list-style-type: none"> ① 広報チラシの全戸配布 ② 乗り方教室(お披露目会)の実施 ③ 出発式の開催 ④ ポスター掲示 ⑤ 市広報紙や新聞への掲載



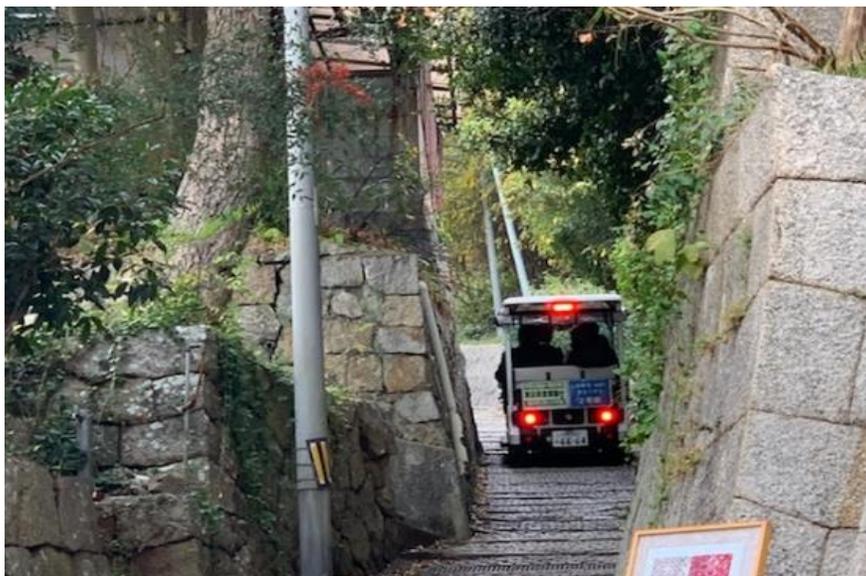
実証運行開始前日に行ったお披露目会の様子



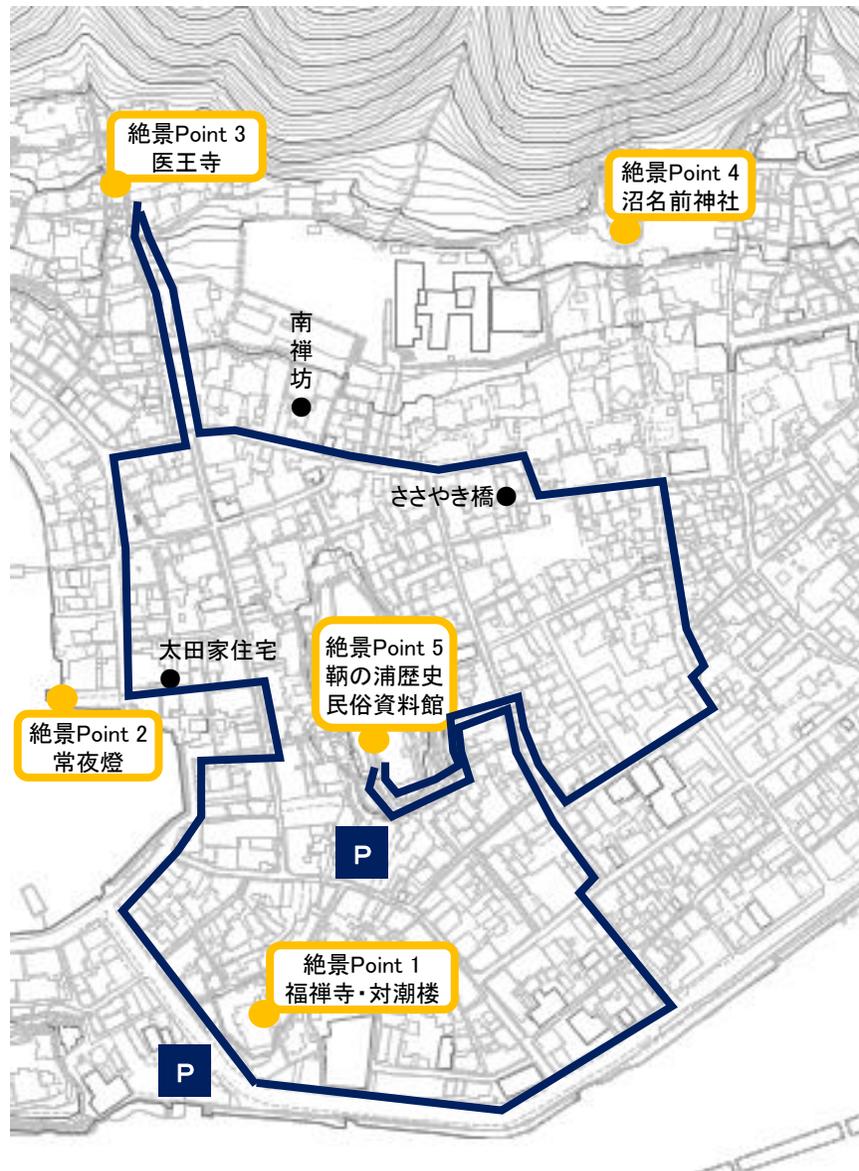
6 実証調査の概要③

< B：絶景おもてなしルート >

走行距離	約2.4km
運行形態	限定エリア内を不定期運行
運行事業者	タクシー事業者(アサヒタクシー株式会社)
運行時間	9:00～17:00
主な停留所	4か所
利用者確保方法	①チラシやポスター・ポップの広告宣伝 ②市SNSなどを活用した情報発信 ③地元観光ガイドと連携した利用の働きかけ



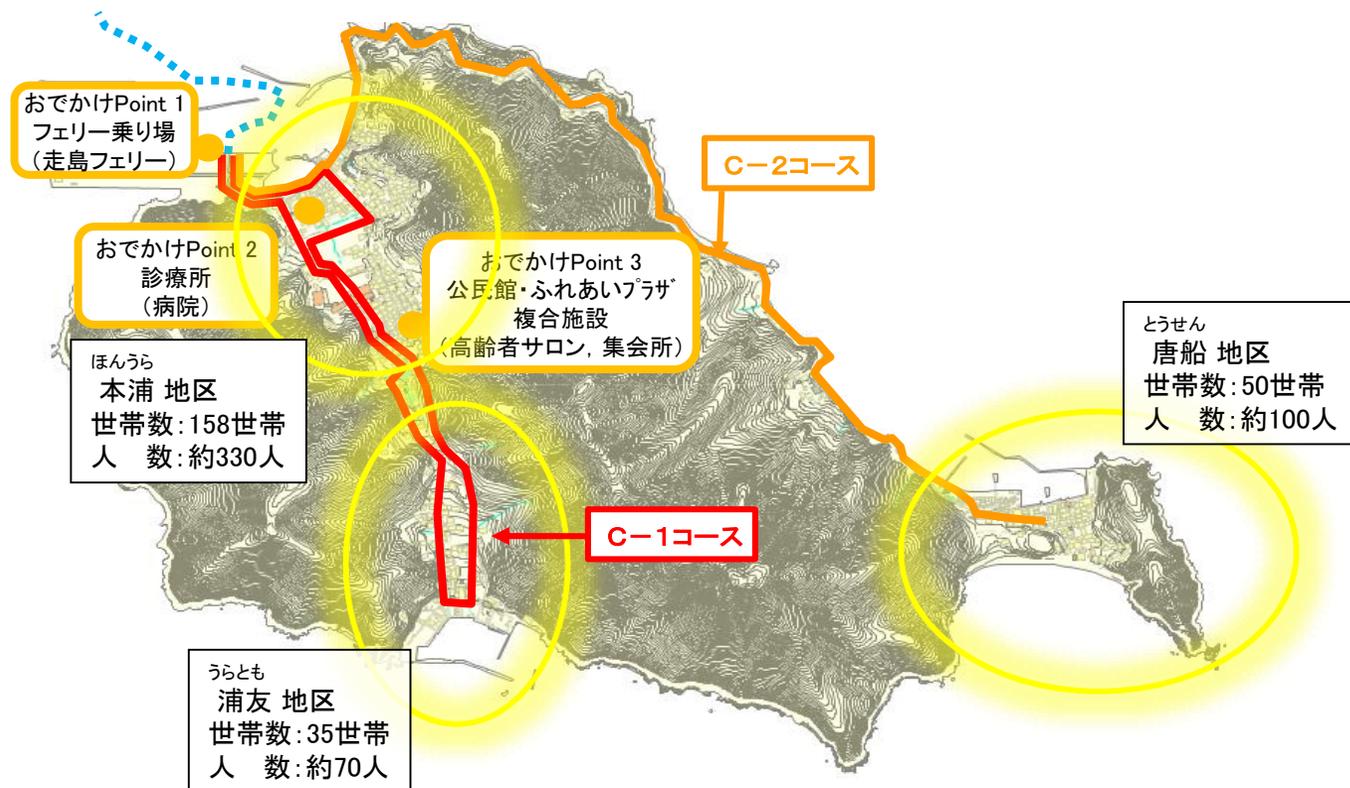
高台に位置する観光名所・医王寺へ続く、急で細い坂道



6 実証調査の概要④

< C : 走島おでかけルート >

走行距離	C-1: 約3.0km, C-2: 約5.4km
運行形態	高齢者おでかけ支援事業(福祉事業)の車両を代替
運行事業者	地域ボランティア(ひまわりの会)
運行時間	8:30~16:00(本数 3便)
利用者確保方法	①広報チラシを高齢者おでかけ支援事業の関係者および利用者に配布 ②走島住民の利用促進



7 実証調査の状況



高台に位置する鞆の浦歴史民俗資料館も楽に移動



お披露目会に集った高齢者の方々



地元の子もたちも体験乗車



離島・走島の細い道路も運行



医王寺の急で狭い坂道を楽しむ観光客



町の雰囲気にも合うグリーンスローモビリティ

8 メディアによる報道

○実証調査開始に伴い、11月16日(木)に出発式を実施。テレビ5社(NHK, 中国放送, テレビ新広島, 広島テレビ, 広島ホームテレビ), 新聞10社(中国新聞, 山陽新聞, 読売新聞, 毎日新聞など)の取材があり、県内全域に発信。



11月17日(土)広島テレビ



11月17日(土)NHK



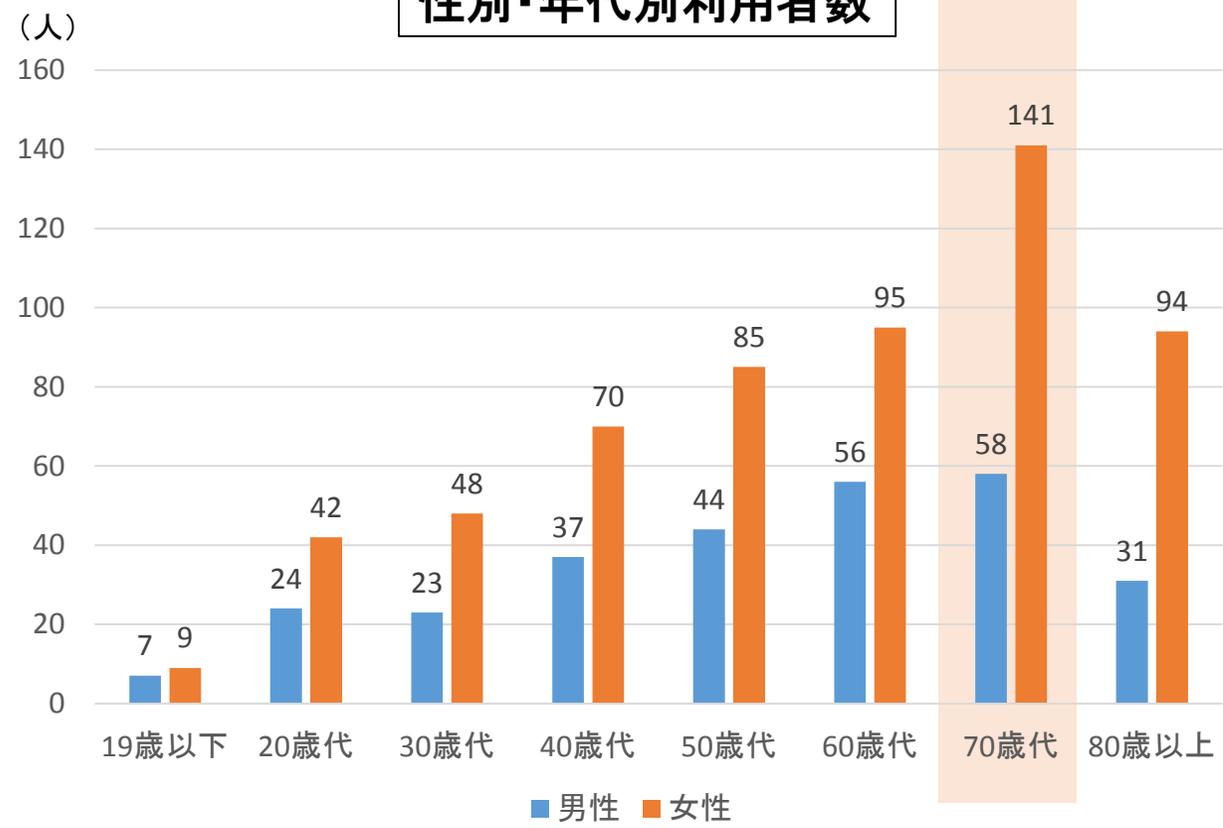
11月17日(土)中国新聞



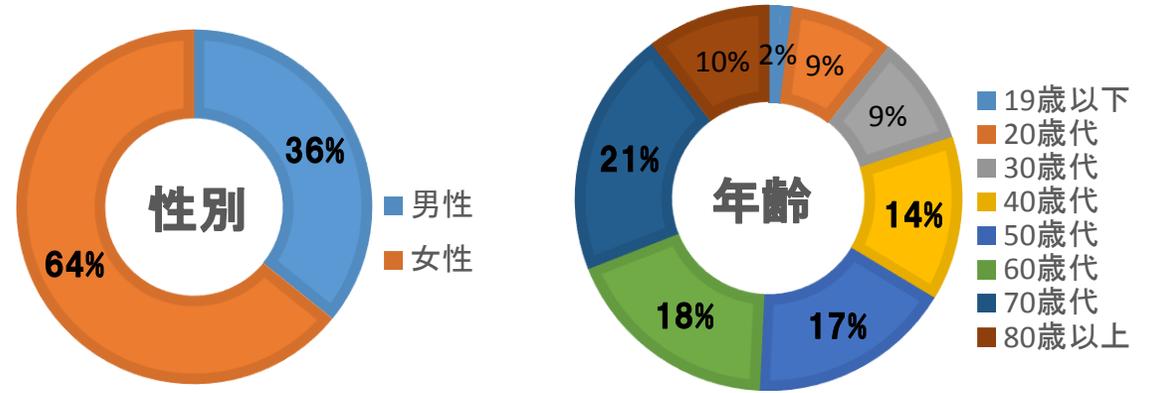
9 実証調査の結果①

○2週間の実証調査で**1,071人**(A:暮らしおたすけルート369人, B:絶景おもてなしルート702人)が利用し、今回の実証調査事業調査地に選定された全国5地域において最も利用者が多かった。
 ○全体的に**女性の利用者に関心が高く**、特に年齢別では、70歳代女性による利用が多かった。

性別・年代別利用者数



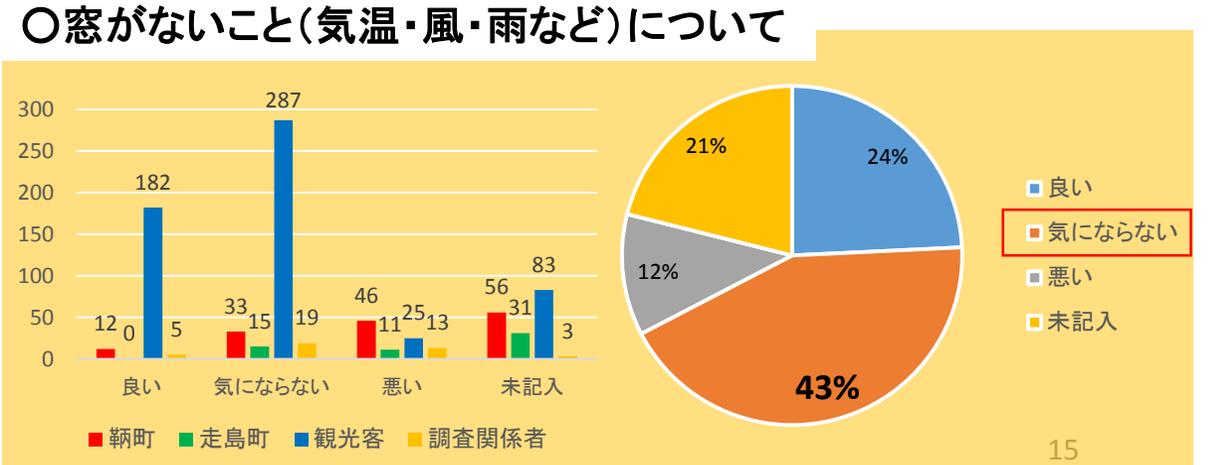
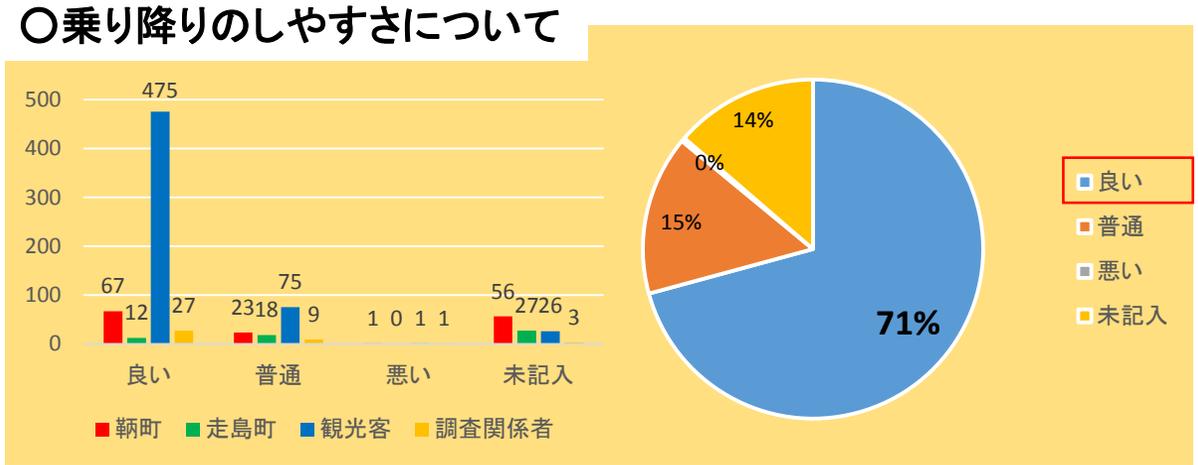
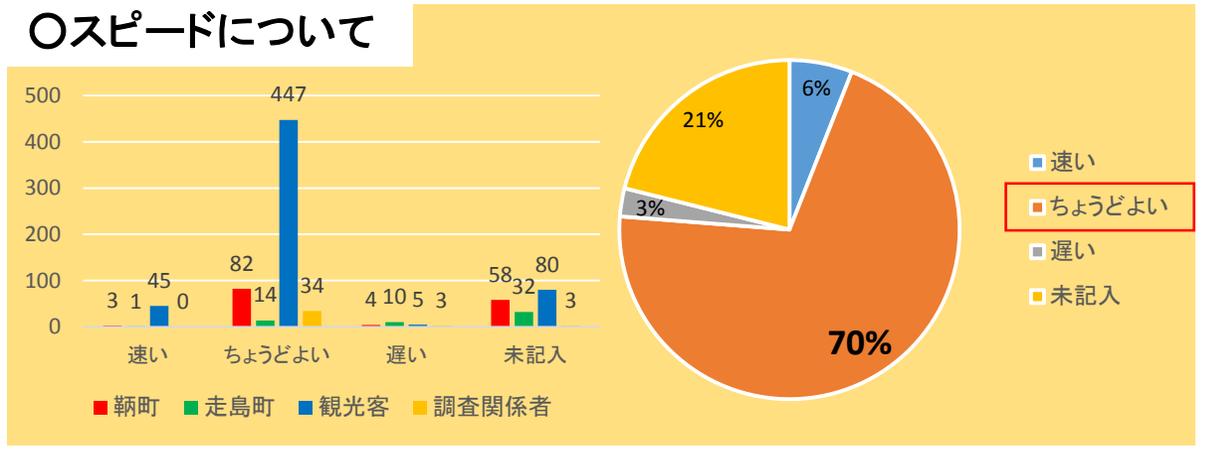
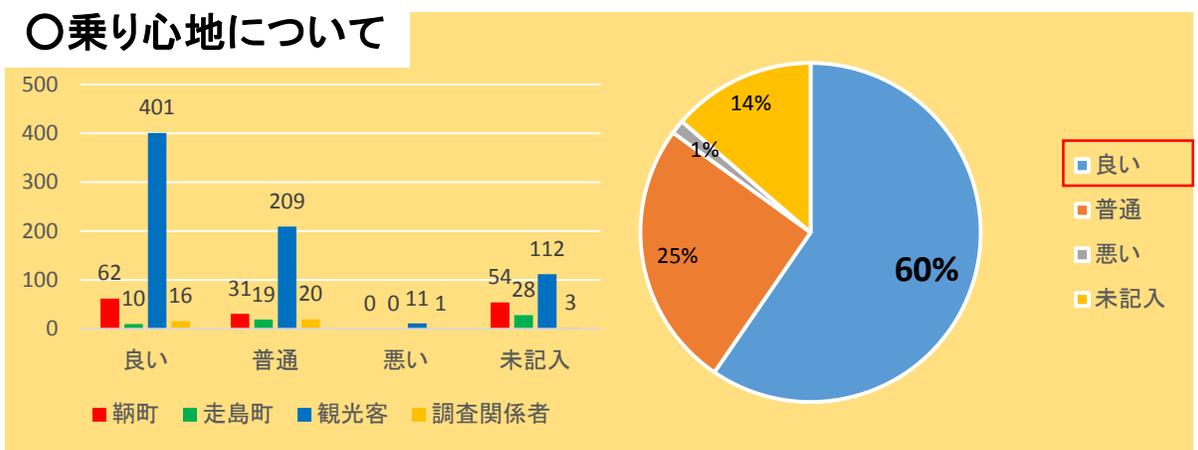
アンケート集約結果



場所	人数	割合	場所	人数	割合
鞆町(平地区)	44人	5.4%	市外(関西)	168人	20.5%
鞆町(その他)	102人	12.4%	市外(九州)	28人	3.4%
走島町	54人	6.6%	市外(関東)	75人	9.1%
市外(福山市民)	83人	10.1%	その他	25人	3.0%
市外(広島県内)	87人	10.6%	その他(自由記述)	21人	2.6%
市外(中四国)	72人	8.8%	未記入	62人	7.5%
合計	821人	100.0%			

9 実証調査の結果②

○乗り心地や乗り降りのしやすさなど、車両に対する評価が高かった。
 ○乗り降りのしやすさには「良い」と回答した人が7割。
 ○交通渋滞を懸念していたスピードについて、「ちょうどよい」と回答した人が全体で7割、



9 実証調査の結果③

○意見の中に本格導入へ前向きな意見が多く、利用者からの期待が感じられた。
 ○**鞆町住民**から、**道路面や運行形態など、より地域の実態に見合った運行を希望する声が多かった。**

○鞆町・走島町住民の意見

内容	年齢・性別
今後のことも考えると 病院通いなどに必要 と思う。	60代女性
身近な乗り物として利用しやすい。 坂道の負担が軽減できるので安心。	50代女性
高齢者で歩いて買い物や病院に行く人にとっては便利で、 コミュニティを肌で感じる ことができた。	70代女性
もう少し 乗れる人数が多いほうが良い。	50代女性
手をあげると乗せてくれる ほうが利用しやすい。	40代男性

○観光客の意見

内容	年齢・性別
中高年層には大変便利で、 徒歩ではいけない観光地に足を運べる。	40代女性
音楽(接近メロディなど)が流れたほうが良い。	70代男性
冬はひざかけ、夏はうちわ を用意してくれたらうれしい。	30代女性
小回りがきいて、運転手さんもいろいろ教えてくれて、 観光にはぴったりだ と思う。	50代女性
ガイドが素晴らしい	60代女性
風が気持ちよかった。 自転車以上車未満の感じ がちょうどよかった。	40代女性